

一般質問 Q & A



公明党かがわ
山本行男

高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種事業を伺う

Q この定期予防接種事業は平成26年10月から開始し、31年度からは接種対象者が65歳のみになる見込みである。

A この間の全国的な接種率は40・8%にとどまり、助成制度を利用していない人が多い。市内での対象者数と接種率を伺う。

接種率は定期が44・7%、任意が4・8%

A 平成26年度から29年度までの定期接種対象者数は2万5,654人、接種者数は合計1万2,876人です。接種率は定期が44・7%、任意が4・8%です。



接種を逃した方々へ再度の機会を

Q 肺炎を予防することは、高齢者の健康長寿の延伸に繋がるのみならず国保の医療費削減に寄与すると考える。

A 未接種者への再度の機会を与える考えは。

今後の公費助成について検討していく

A 現在、掛川市は肺炎罹患者が増加する75歳以上を対象として、定期接種の上を対象として、定期接種の公費助成を1回分実施しています。平成31年度以降の対応については、国の動向や定期接種率が44・7%にとどまっている現状などを踏まえて今後の公費助成について検討していきます。



高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種をご希望の方はこちらから



創世会
額岡慎悟

市役所本庁舎吊り天井の改修予定工法と予定時期は

Q 建築基準法が改正され、市役所本庁舎吊り天井の大地震時の落下可能性が危惧されている。そこで、落下対策の方法と改修予定時期を伺う。

来年度、工法検討及び実施設計を行う

A 現段階では、被災後も庁舎が利用できる超軽量天井工法が有効であると考えています。来年度、工法検討及び実施設計を行い、その後、早期に改修工事を実施します。



市役所本庁舎の吊り天井

家庭教育の父親参加の推進を

Q 家族愛の醸成には父親の関わりが大変重要である。教育委員会主導の父親親学講座や企業と連携した父親対象の講座やワークショップを開催し、父親世代の家庭教育を推進するべきと考えられているか。

今ある学習機会を活かし、情報発信をしていく

A 掛川市では、家庭教育支援員や子育てサポーターに、幼保・小中学校における保護者会・学習会での講師等をお願いして、家庭教育を考える機会の充実に努めています。また、幼保16園で家庭教育学級を運営して、保護者が子育てを学び、保護者同士の親交を深める機会づくりも行っています。今ある学習機会を活かし、より多くの父親に参加してもらえよう、また、PTA活動にも参加してもらえよう情報発信をしていきます。

【その他の質問事項】

・公共施設の活用について